

経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県米沢市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
81,847	27,398	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

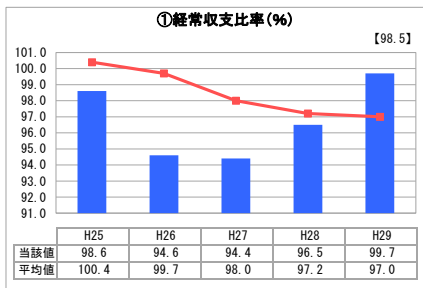
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
322	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	322
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
318	-	318

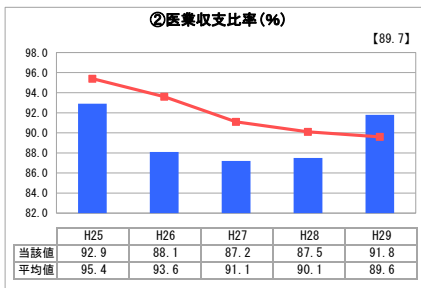
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

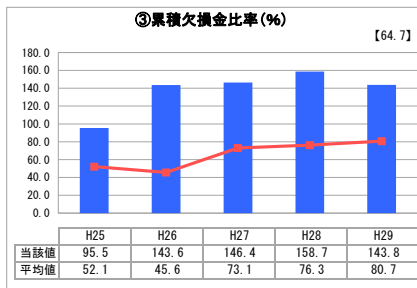
1. 経営の健全性・効率性



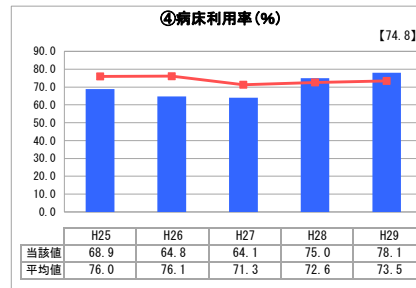
「経常損益」



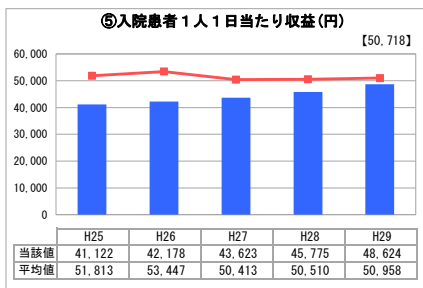
「医業損益」



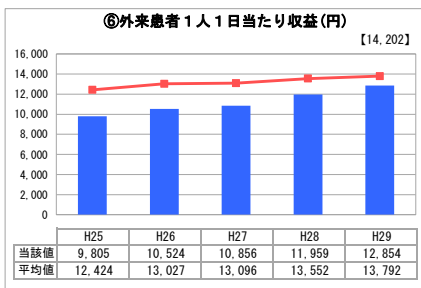
「累積欠損」



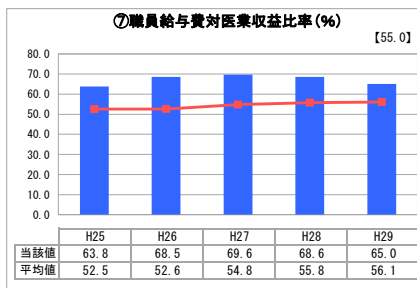
「施設の効率性」



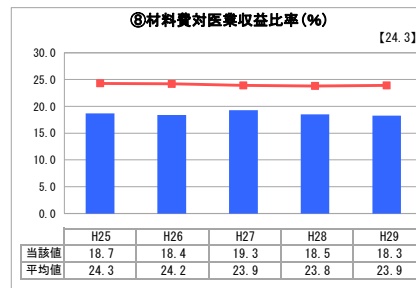
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

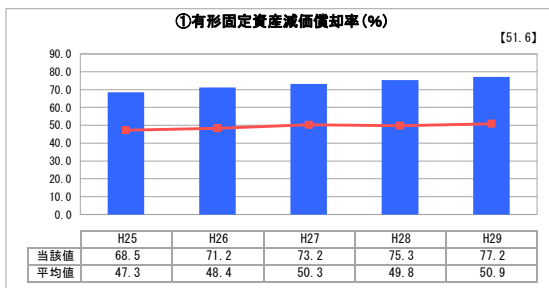


「費用の効率性①」

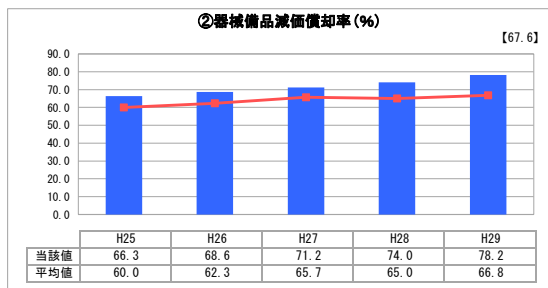


「費用の効率性②」

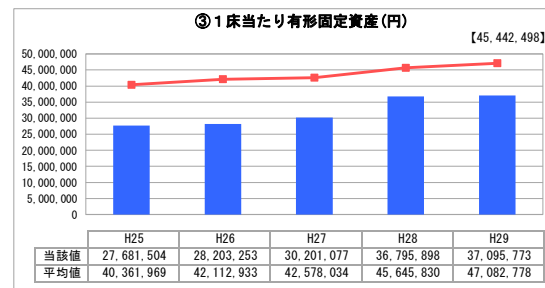
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当院は、置賜二次保健医療圏の基幹病院として、主に急性期医療を提供している。地域では、二次救急医療機関として、市の病院群輪番制に参加している。

また、民間医療機関による提供が困難な高度医療、救急、小児、周産期等の不採算部門の医療提供及び臨床研修病院としての教育機関の役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率 (①) と医業収支比率 (②) は、前年度を上回り、類似病院平均値を上回っている。しかし、累積欠損金比率 (③) は前年度より下がったものの類似病院平均値より高い水準にあり、更なる経営改善を必要とする。

病床利用率 (④) は、平成28・29年度の2年連続で類似病院平均値よりも高い。入院・外来患者1人1日当たり収益 (⑤、⑥) については、類似病院平均値より低いものの、毎年度その差は縮まっている。

職員給与費対医業収益比率 (⑦) については、改善しているものの、割合は依然として高い。材料費対医業収益比率 (⑧) については、平成27年度から数値が下がっており、今後も継続していきたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率 (①)、器械備品減価償却率 (②) とともに増加傾向にある。また、類似病院平均値より高く、病院の老朽化が進んでいる。当院では平成35年度までに新病院を開院する予定であり、それまでは固定資産への投資を必要最低限とする。

1床当たり有形固定資産 (③) は、前年度より減少し、類似病院平均値よりも低い水準にあり、今後も計画的な投資を行う。

全体総括

収支の面では経年比較で改善傾向にあり、前年度より赤字幅が縮小している。類似病院平均値と比較しても高い水準となったが、赤字決算であることに変わりはなく、依然として債務超過の状態が続いている。

当院では、平成35年までに新病院開院を目指して事業を進めている。円滑に事業を進めるため、今後、債務超過を解消するだけではなく、安定して黒字にする必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。